

今月の一言:4月17日、大手企業交渉で渋谷支部は積水化学工業と交渉します！情報をお寄せください！

## パワービルダー交渉、一建設組合が組合加入調査を謝罪

3月18日を中心に東京土建は関東地協賃対事務局として、パワービルダー8社と交渉を行ない、賃金・単価の引上げを要求しました。

一建設では2月、取引従事者に対して組合加入の有無と加入組合名を聞き取るアンケートを送付。東京土建は憲法28条に規定する勤労者の団結権の侵害として抗議、謝罪撤回を行なわせました。一建設はアンケートの動機について、全建総連がビルダー各社に交渉を申し入れていることを受けて、「貴組合が実際に一建設の現場従事者を組織する組合であるかどうかを確認するためだった」としています。同時に一建設は、中小企業庁が行なった「価格交渉促進月間」フォローアップ調査の評価が低かったことを受け、協力業者等と定期的に価格交渉を実施すると発表し、労務費や経費の高騰状況を問うアンケートが従事する組合員に届き、3支部5人から対応についての相談が寄せられています。このチャンスを要求獲得に結び付けるために、3月26日に行なった一建設との交渉では、従事者からの要求に対する誠実な対応を求め、当該支部と協力して当事者の仲間と対策にあたっています。

## 高輪ゲートウェイ「品川4街区」現場宣伝行動

3月13日、昨年から劣悪な現場環境を訴える従事者の声が絶えなかった「品川4街区」（大林組）現場において、東京土建として5回目となる宣伝行動を実施しました。竣工を控え急ピッチで工事が進められる中、働く仲間に宣伝物を渡し、現場の状況を聞き取りました。翌日には現場LINEに「階段と床の間に人が落ちるほどの空間があるのに鉄板養生などを全くされず、大林に危険なので改善してほしいと頼んだが全く改善されなかった」などとの声が寄せられました。八重洲現場で起きた重大死亡事故の元請ゼネコンも大林です。みなさんの現場の声を聞かせてください。

## 育成就労制度、特定技能制度の運用方針が閣議決定

政府は3月11日、育成就労制度、特定技能制度の運用の基本方針を閣議決定しました。技能実習制度にかわる育成就労制度は、2027年施行予定です。原則3年で特定技能の水準まで育成し、受け入れ先の企業などには技能と日本語の習得への支援、育成就労外国人と特定技能外国人には検定合格を求めています。また、本人意向の転籍や、地域における外国人との共生のための施策の推進（大都市圏などに過度に育成就労外国人、特定技能外国人が集中しないため）なども示しました。政府はこの基本方針をもとに、産業別の制度運用のあり方を年内に策定する予定です。

お読みになった方はお名前をご記入の上、渋谷支部までご返送ください 氏名：